小鷲河地区

小鷲河ふる里をまもる会

会　　長	田中　義宏	所在地	鳥取市鹿野小別所 351-3
事務局長	横山　　茂	TEL/FAX	0857-84-2054　/ 0857-84-2060
設立年月日	平成 21 年 3 月 26 日	Mail	cc-kowashigawa@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	173 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kowashigawa-1
組織構成	安全部会、環境部会、事業部会		

地域コミュニティ計画　『小鷲河地区まちづくり計画』

- 策定時期　平成 22 年 4 月 27 日
- 支援宣言　平成 22 年 7 月 15 日
- 目　　標　楽しい、おもしろい、美しいふる里をつくる

◆ 地域の課題

小鷲河地区は人口減少、高齢化が進んでおり、それに伴いさまざまな地域課題が浮き彫りになっています。

各種団体活動の維持、空き家問題、農業の担い手不足などが挙げられます。また数年前に民間バス路線が廃止になったことにより、これからの公共交通のあり方についても考えていかなければならないところです。

また、中山間地に位置する小鷲河地区は大雨などによる土砂災害地域が多く、冬は降雪量も多いところです。豊かな自然に囲まれている反面、イノシシ、シカなどによる獣害も多く発生しています。

◆ 主な活動内容

事業①　小鷲河地区防災運動会

人口減少、高齢化の影響で従来通りの運動会実施が難しくなり、種目等の見直しを考えていたところ、「防災運動会」として新たに実施することに。少人数、高齢者でも参加しやすく防災訓練の要素を取り入れた内容にしたところ、参加しやすくなった・防災意識が高まったとの声をいただき、令和５年度から継続して実施しています。

事業②　小鷲河生活交通プロジェクト

当地区では公共交通が事業撤退し、現在は循環バスが走行しています。今後循環バスが無くなった時の事を想定して、地域の足をどのように支えるかを検討する生活交通を考える会「小鷲河生活交通プロジェクト」を立ち上ました。現在メンバーは１２名。随時地区の生活交通について考える会を開催し、小鷲河地区にとって望ましい生活交通の仕組みを検討しています。

事業③　河内川の立木伐採

近年、豪雨などによる自然災害の大規模化に備え、河川の氾濫を防ぐため、河川敷の立木伐採を実施しています。

一昨年度立木伐採のボランティアを募ったところ、18 名の応募がありました。年 2～3 回程度、増水時に危険な立木を伐採し、防災および景観維持の活動を実施しています。鳥取県の参画型ボランティアの団体登録もして、行政の力も借りながら取り組んでいます。

今後の計画

様々な地域課題を抱える地区ではありますが、課題に向き合いながら幅広い世代からの意見も取り入れて事業計画を立て、開催事業を通じて地域住民同士の交流を広げ、問題解決に向けた取り組みを実施します。

少子高齢化、人口減少などで地区内の団体等も減少傾向にあり、事業の継続が困難なこともありますが、実施方法や内容などを見直しつつ「楽しい、おもしろい、美しいふる里」作りへ向けて行政、民間の手も借りながら持続可能なまちづくりに取り組みます。